

からしだね

vol.45

2023 年 5 月



就労移行特集

まあろ



与える福祉ではなく、その人にとって必要なことをその人の自立に向けて支援する

社会福祉法人ベテスタ こいしろの里 広報誌

Public Information of Social corporation Betesta koishironosato

◆おしごとフェスタに参加しました！

2023 年 2 月 14 日に多気、明和、大台、松阪合同で行われた「おしごとフェスタ」に就労移行支援事業所として参加してきました。「おしごとフェスタ」は多気、明和、大台、松阪の社会福祉事業所と、障害者雇用実績のある企業が集結し、「障がい者の働く」を相談することのできるイベントでした。

求職をされている障がいをお持ちの方やその家族さんと直接話をする事ができ、就労移行支援事業所としても貴重な時間を持つことができました。

お話を伺っている中で「就労移行支援」という福祉サービスを知らない方が多く見えることが印象的でした。また、福祉サービスを知りたい、利用したいという方より、「仕事をしたい」という方が多く、企業側のブースに多くの人が集まっていました。

今回のイベントを通して感じたことはこの地域で「就労移行支援」がまだまだ定着していないことと、とにかく働きたいという意欲のある方がいることがわかりました。今後もこの地域の活性化のためにできることがまだまだあると確信し、改めて「就労移行支援」のやりがいを感じる時間となりました。



◆就労移行説明会を行いました！

まあるではこの 1 年、就労移行支援事業所として地域や社会福祉事業、企業に支援活動を通して関わってきました。その中で強く感じたのはこの地域の「就労移行支援」に対する認知度の低さ、そして障害者雇用に対する企業と福祉、そして障がい者への意識の違いです。特に多気、明和、大台地域に就労移行支援事業所がないことなどが「就労移行支援」の認知度の低さにつながっていると感じました。

そこで 2 月 14 日に行われていたおしごとフェスタで、「就労移行支援」の説明会をまあるで行う企画を紹介し、3 月 23 日にまあるにて就労移行説明会を行いました。

当日は関心を持っていた方や福祉事業関連の方など多くの方に足を運んでいただきました。説明会後には個別で質問や相談を受け、希望者にはまある作業室の見学を行いました。

まあるでこのような集団説明会を行うのは初めてであったが関心を持たれている方や関係者の方々の協力により説明会を無事行うことができました。反省点もありましたが、まある職員にとっても学びの多い企画になりました。今回の説明会をより発展させ、この地域の雇用に向けて私たちのできることを取り組んでいきます。



皆様にお伝えしたいこと

【就労移行支援事業】とは

障がいのある方の社会参加をサポートするために制定された「障害者総合支援法」に基づいて運営されている通所型の福祉サービスです。

サービス内容は「職業訓練の提供」と「就職活動の支援」です。

◆求職している障がいをお持ちの方へ伝えたいこと

仕事をお探しの方、何を基準にお仕事を探していますか？

答えは一人ひとり違うと思います。

なかなか、次のお仕事が決まらないというそのあなた、まあであなたの答えを聞かせてくれませんか？

◆障害者雇用をしてお悩みの企業の方へ伝えたいこと

雇用している障がいをお持ちの方のレベルアップのためにまあで訓練をしませんか？

訓練後、再び企業に戻ることも可能です！

障がい者の採用とその定着に向けて企業が障がい者を採用する際に「就労移行支援事業所」を利用しませんか？

障がい者 ⇄ 就労移行の支援 ⇄ 企業

- ・雇用に向けての受け入れ準備ができる。
- ・雇用後支援サポートが可能（6 カ月）

障がいをお持ちの方と企業の間に入ることでお互い
の見極め期間を作ることができます。

「本当にここで働きたい」「本当にこの人を雇いたい」
双方の思いが一致したベストタイミングで就職して
長く働ける障害者雇用を実現させましょう！

◆特別支援学校の先生方へ伝えたいこと

B 型事業所に進む場合には就労移行の行う「就労アセスメント」が必須になるので長期休み期間に「就労移行支援事業所」を体験としてぜひご活用ください。

就労移行支援事業所は「雇用」ではなく「福祉サービス」となるため、進路先として就労移行事業所を卒業後の進路にすることはできません。

しかし、将来的に進んだ就労先（B 型や障害者雇用）で就労が定着しなかった場合、就労移行の支援を受けることができます。

就職にくじけた方のほとんどが就労移行支援を知りません。生徒さんの将来の選択肢の一つに就労移行支援事業所があることをお伝えください！

◆ご家族の方へ伝えたいこと

現在の教育現場では「失敗」を起こさないための教育がメインです。

では、「失敗」をしたらどうしたらいいの？

「なぜ怒られたの？」「なんで笑われているの？」「仕事にいきたくない」

家族の中でそんなことを言われたら、何と答えますか？

失敗をしない人はいません。大切なのは失敗した後、どうやって対応したらいいか。

まあでは、“仕事を見つける”だけでなく、“長く続けられる仕事”につながるように職種、職場環境、通勤方法などその人の特性と合わせ、将来のさまざまな想定をした上で支援をしています。

就労移行支援事業所 まある の紹介



近鉄漕代駅から徒歩 9 分
駐車場、駐輪場あります！
送迎可（要相談）
利用時間 8：30～16：30
開所日 月～金曜日
定員数 10 名

利用実績	2021 年～2022 年
新規利用者	5 名
一般就労輩出	3 名

まあるはあなたの「働きたい」を一番、大切にしています！

☆まあるの特徴☆

①利用者さん一人ひとりに合わせたプログラム

事業所の作業に利用者さんを当てはめるのではなく、
その利用者さんにとって必要なプログラムをつくり、支援をしていきます！

②職員は全員一般就職の経験者

さまざまな企業での経験を活かした「使える」情報や技術を学べます！
利用者さんにあったアドバイスをしていきます！

③訓練の作業で工賃が発生

通常、就労移行支援事業所では工賃は出ませんが、
まあるでは作業で得た収入を 利用者さんに還元します！

まある利用期間中の流れ

見極め期間
施設内活動・作業

訓練期間
施設内外に活動・作業

見定め期間
企業への体験・実習

企業に就職

関連企業（見学・体験・実習・就労）

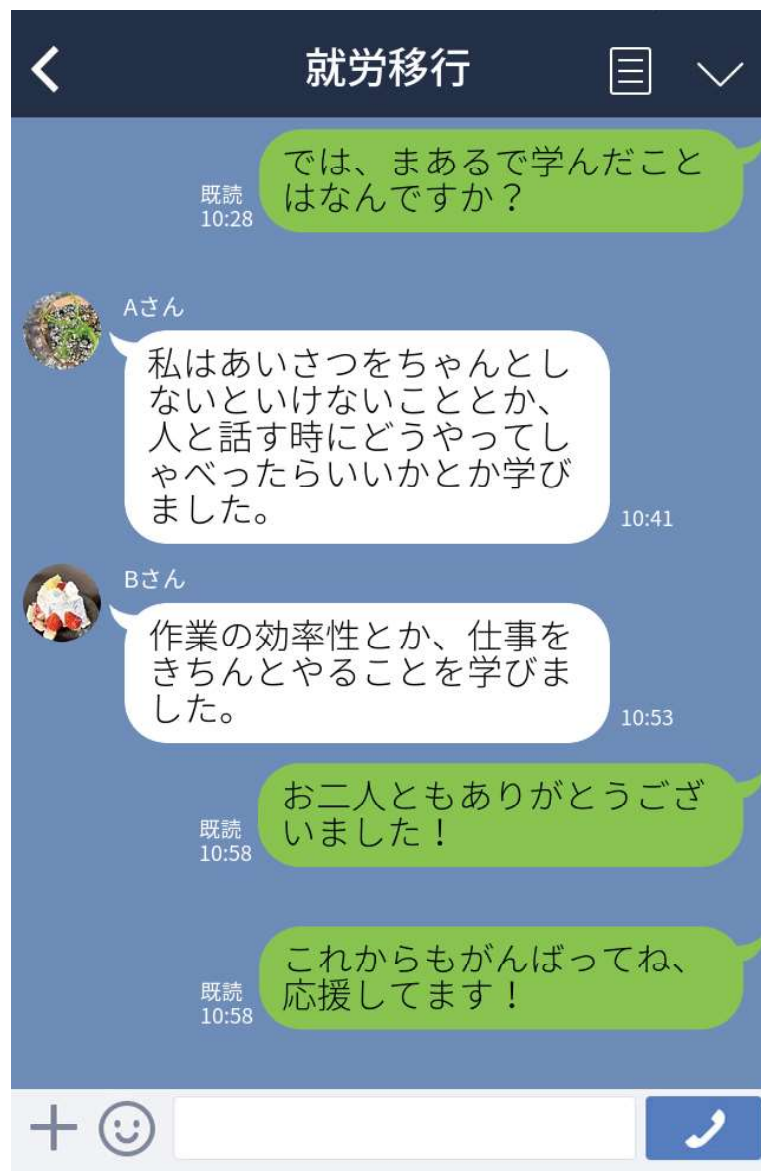
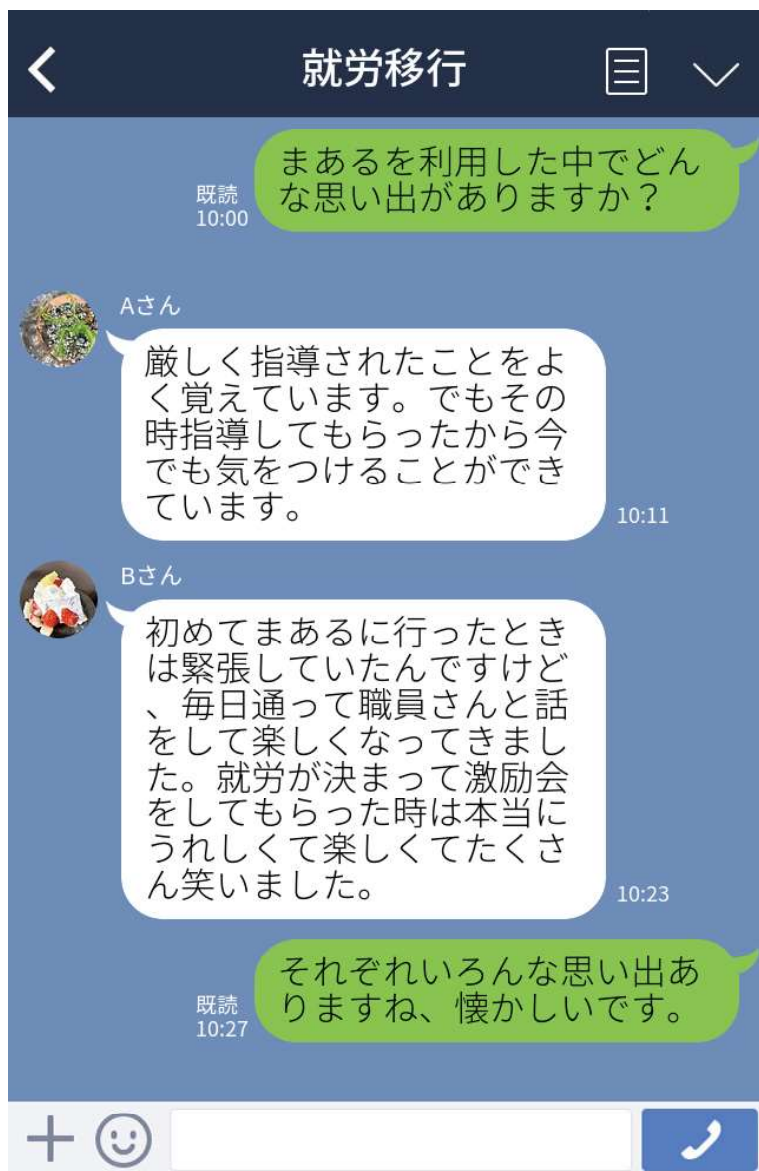
ポモナファーム、コリーヌファクトリー、ケイエヌポップス、楠田板金塗装、長谷川自動車、サン・テス、中川電装、吉帝食品、旭電器、SWS スマイル、松阪市役所、松阪市済生会病院、美和ロック、トモ、百五銀行など



就労移行支援事業所を利用するって実際どうなの？

まあるを利用して就労した

Aさん(2022年10月卒業)とBさん(2023年1月卒業)にお話を伺いました！



卒業後、障害者雇用をしてもらっている企業さんに聞いてみました！

- ・頼りにしています。やる気が高く、もっと長い時間働きたいという要望も本人より伺っています。パソコン作業など新しいことを少しずつ教えて、できる範囲を増やしています。障がいを持つ方が頑張っている姿はほかの職員の良い刺激になっています。(A社)
- ・よく頑張ってくれています。仕事も丁寧でテキパキ作業をしてくれます。体調不良で休む日が1日ありましたが、一生懸命に取り組んでくれます。また、それに対して連絡、相談をしっかりしてくれています。元気に挨拶もしてくれて職場の雰囲気明るくしてくれています。(B社)

作業プログラムで協力をしてもらっている企業さんに聞いてみました！

- ・まあるさん(支援員)がいるので安心して作業を任せられる。(C社)
- ・障がいの人にどのように接したらいいかわからないがまあるさんがアドバイスをくれるので助かる。(B社)
- ・雇うことを想像しやすくなった。雇用前に準備や対応を教えてくれるのはありがたい。(D社)

就労支援をやってきて思うこと

就労支援は2年間という期間が定められているため、その2年で私たちのできることを一生懸命日々支援させてもらっています。日々の訓練で変わっていく利用者さんの姿に我々もやりがいを感じ、何よりも利用者さんの将来形成に役立てることに喜びを感じ、支援をさせていただいています。利用当初は表情が乏しく、消極的だった方でもさまざまな訓練に取り組むことで積極性を身につけて就職を遂げました。就職後半年間の就労サポートの中で企業に伺い、卒業生が働いている姿を見るのが何よりの喜びになっています。

お花見



冬の寒さも和らぎ、春が近付いてきました。桜が綺麗に咲く季節になってきたので、利用者さんと一緒に、大仏山公園に花見へ出かけました。目的地までの道中、車内から見える桜の景色を見て、利用者さんが「桜や」と指をさして喜ぶ姿が見られました。現地に到着し車から降りて公園に入ると、風が少し強めに吹いていましたが、桜の花びらが舞っており綺麗な景色が見られました。車いすの方を押してもらいながら、周りの景色を見て散策する様子に朗らかな気持ちになりました。ベンチに座り、桜を見ながらのおやつは普段食べているおやつとは違い格別においしかったのではないかと感じています。時間はあっという間に過ぎていきましたが、これから先訪れる季節を利用者さんと共に感じていけたらと思える、そんな楽しく貴重な時間でした。今後も外出の機会を設けていき、思い出に残る時間を作りたいという気持ちを持って取り組んでいきます。

支援員 川元麻矢



2023年3月24日に利用者の方と多気町の「ゆとりの丘」へお花見に行ってきました。今年は例年より暖かく1週間以上開花が早くなりましたが、ちょうど見ごろで楽しむことが出来ました。当日は心配していた天気も回復し、絶好の花見日和となりました。

ここ数年はコロナ感染症の流行もあり、大々的にお花見をすることが出来ていませんでしたが、今年は小グループに分散してではありますが、みなさん待ちに待ったお花見を楽しむことが出来ました。平日だったこともあり、ゆとりの丘にはそれほど花見見物の方もおらず、ゆっくりと園内を回ることが出来て楽しい余暇時間を過ごすことができました。お楽しみのおやつは3色花見団子でした！利用者の方には花見より団子が好きという方もみえますが、綺麗な景色を見ながら美味しい団子を食べることができたのは最高の思い出になると感じられます。今後も様々な社会参加や外出の機会を設けて楽しい思い出に残る企画を行っていきたいと思います。

支援員 片岡督

**支援学校・特別支援学級の先生方へ
就労アセスメントを受け付けます。
就労継続支援B型を利用する場合は
就労アセスメントが必要です。**

**就労アセスメントは
随時受付中!!**

就労アセスメントとは？

就労アセスメントとは厚生労働省が出している働くために必要なことが評価できるものです。

就労アセスメントの目的は、意欲のある障害を持っている人の特性や能力を最大限に生かし、働きやすい環境を作ることにあります。

就労アセスメントは就労移行事業所に依頼することが一般的です。

社会福祉法人ベテスタ まある事業所
〒515-0212 三重県松阪市稲木町1008
tel:0598-28-4835 fax:0598-28-4895



まあるへの地図
QRコード

